

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	社内理念は事業所内に掲示している。事業所理念は毎日唱和したり、新入社員が入って来た際にはオリエンテーションを行ったりすることで職員間での共有をしている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	町内のお祭りや、教会のバザーやお祭り、小学校行事に積極的に参加し、地域の一員として自治会、行事、小学校の行事、地域活動には参加に努めて、交流を深めている。	町内会に入っていて職員が回覧板を持って行ったり清掃に参加をする事で関係を継続している地域の方から事業所として活用できるものや見学などいつでも受け入れている事から地域に浸透し始めている		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議は定期的に行っている。他職種の方の参加をいただき、意見を取り入れ、サービスの向上に努めている。	運営推進会議の参加が難しい利用者家族様には月に1回程度ケアマネジャーが電話等にて状況を伝えている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議に参加や市の介護保険課へ出向き、事務所の実情等の話し、協力関係を築くようにしている。	月に一回程度、包括センターや病院へ挨拶回りに行っている。継続して行ってきた事から管理者やケアマネジャーが顔見知りとなり詳細に情報を提供し合える関係性が出来ている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3か月に1回の委員会の実施。年間の研修計画の中での勉強会を行い、共有認識を図り、身体拘束について全スタッフが理解を深めるように努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員を選出し、適切に委員会活動を実施している。また、研修においても定期的の実施し職員が正しく理解できる機会を設けていると評価いただいた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3か月に1回の委員会の実施。年間の研修計画として勉強会を行い、高齢者虐待防止マニュアルを参考にし、スタッフ全員共同認識している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止委員を選出し、適切に委員会活動を実施している。また、研修においても定期的の実施し職員が正しく理解できる機会を設けていると評価いただいた。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用されている利用者様もおられる。又、勉強会においても制度の理解に努めている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	見学時より契約に至る間、電話連絡などにより、不安解消に努め、理解を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会時や電話等で家族の意見を聞き取り、運営に反映している。又、ケアプランにも本人、家族の思いも反映している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設ではご利用料請求の際に普段の様子をGH新聞で伝えるなどの工夫をして情報提供をしている。従来の外部評価の様式を使用し、アンケートを実施することで家族の意見を反映する機会を持つ等の工夫を今後も検討していく
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃より職員の意見を聞いたりしている。定期的にミーティングを行い、意見、提案を出しやすい機会を設け、反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	実践者研修、管理者研修、介護福祉士等資格取得の支援を行い、資格習得後は各自向上心を持ち、仕事に活かせるように努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	独自の評価表を用いて面談等を実施し、適切に職場環境の整備に努めている。職員の家庭の事情や心情を理解し対応に取り組んでいる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修は誰でも行けるようにしている。資格習得希望者には勤務配慮をしている。施設内でも勉強会を行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護福祉士等の資格取得支援を実施し職員教育に力を入れている。シフトのやりくりや今後の研修受講のやり方の検討が必要であるとご意見をいただいた。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議やケアマネ交流会に参加させて頂き、サービスの向上に努めている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場 におかず、暮らしを共にする者同士の 関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分でされて嫌な事はしないとの思 いを職員間で話し、暮らしを共にす る者同士の関係を築いている。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染み の人や場所との関係が途切れないよ う、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がこれまで大切にしてきた馴染 みの方々との関係が途切れないよう に電話等支援に努めている。	面会等の実施、来苑が難しい方へはテ レビ電話を活用して面会を行っている。 関係性を鑑みた上で関係性の継続を図 っている		

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環 境、一日の過ごし方の希望や意向の把 握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの思いを傾聴し、意向を 職員全員で共有している。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリン グ	本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、それぞれの意見やア イディアを反映し、現状に即した介護計 画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にモニタリングを実施し、本 人、家族と必要な関係者と話し合 い、現状に即した介護計画を作成し ている。	入居時に作成し2週間後には見直しを行 っている。その後は短期で半年、長期で 1年間の更新をしている。事業所内の事 会議の場だけではなく、記録用タブレッ トにタイムラインとしてあげたりするこ とで職員との情報共有を行いケアプランに反 映している。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画やモニタリング、アセスメントな ど職員が共同で取り組んでいる。 利用者の方との日々の何気ない会話な どのやり取りの中で得られるものも多い ので参考にしている
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、職員間で情 報を共有しながら実践や介護計画の見 直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の記録を記入し、職員間で共有 している。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の介護記録、申し送り、カンファレン スなどを活用し、情報共有に努めてい る。他施設では、
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ るニーズに対応して、既存のサービスに 捉われない、柔軟な支援やサービスの多 機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所同士の連絡情報交換により、 本人や家族の希望に添えるような支 援をしている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資 源を把握し、本人が心身の力を発揮しな がら安全で豊かな暮らしを楽しむことが できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の一員として小学校や教会を訪 問し、交流を深めている。	地域の一員として小学校や教会を訪問 し、交流を深めている。コロナ対策として 訪問は控えていた。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望により、かかりつけ医を決めている。かかりつけ医との関係は良く、何事も相談できる体制を取っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療関係者と話し合いながら早期退院も含め、情報交換できる関係作りが出来ている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	申し送りや情報ファイルを作成し、入退院時に適切に情報交換できるように仕組みを作っている。医療面では、往診に来ていただいている医師と連携し、情報提供できるように努めている
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の意向を聴き、それに添って重度化に伴う意思の確認をし、説明を行って医師の往診を受けるなど支援している。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方に状態の変化が見られた際に施設・病院・家族で治療方針、病状の説明を実施するなど十分に話合う機会がもてるようにしている
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆で勉強会を度々行い、全員で話し合い、実践力を身につけている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災や地震、水害を想定して避難訓練を定期的に行っている。	年に2回避難訓練を行っている。近隣している介護施設、保育園と協力して訓練の実施を行っている。水害時には近隣施設の2回を避難先としている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災マニュアルやBCP等の作成、避難訓練の実施などを適切に実施している。実際に真備の災害の際にマニュアルの中では想定されていないことも多く起きたので、マニュアルやBCPなど繰り返し見直し、修正が必要だと助言をいただいた

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重し、親しみの中に礼節を保ち、本人の希望や意向の把握に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は日々の業務中でもご利用者一人ひとりに合った対応を意識している。内外の研修を通じてさらに意識を高めることがとても有効だと意見を頂いた
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの身体状況にあった暮らしが出来るように支援している。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの身体状況に合わせ、食事や飲み物を楽しめるように支援している。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事食や四季折々に工夫した食事を提供できている。利用者が食事づくりやおやつ作りに参加できる機会なども考慮してはとご助言いただいた。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態や習慣に合わせた食事量、水分量が確保できるように支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、1人ひとりの状態にあった口腔ケアを行っている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後適切に口腔ケアを実施できている。訪問歯科等を利用し、専門職による治療等も実施できている。また、口腔体操を積極的に導入している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表をつけ、1人ひとりのパターンに添って自立支援を行っている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮しながら利用者一人ひとりに合わせた排泄ケアを実施できている。
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間やシャワー浴など本人の希望に添った支援をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人ひとりの生活習慣、就寝時間など睡眠パターンを把握し、昼寝やソファでくつろがれるように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服確認表にて職員は1人ひとりの確認ができるようにしている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関と連携し、看護師を中心に医療と介護の連携を図り適切に服薬支援を行っている。また、日々の健康状態の把握についても適切に連携できている。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様本人の得意な分野を見極めて一人ひとりの役割や楽しみを提案して、気分転換等をして頂けるように支援している。	本人の得意な分野や興味のある事を提案し一人ひとりの役割や楽しみを持って気分転換をして頂けるように支援している。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と共に外出に出かけたり、スタッフと共に地域の行事等にも家族や地域の人々と協力しながら支援している。又、個々の散歩に行かれるなど支援している。	家族と共に外出や、スタッフと共に地域の行事等に参加し支援している。又、個々に散歩に行かれるなど外出の支援している。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の希望もあり、金銭は持たないようにしている。本人の希望で欲しいものがあれば購入している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をかけ、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望があれば電話をかけ、手紙のやり取りが出来るように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有空間は季節の貼り絵等を作成し、季節感を取り入れている。又、ソファを置き、生活感を出せるように工夫している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用の方が居心地よく過ごすことが出来るよう、居室レイアウトの工夫やトイレの場所、自室が判らなくなる様、表示を貼るなど混乱なく生活できるような工夫も見られる。環境整備の意識を職員に持ってもらうために研修を設けている。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりが自分の思いや希望が言えるような雰囲気をつくり、日々密接な関係が保てるように支援している。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス利用を開始する段階で本人、家族が必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。本人がこれまで大切にしてきた馴染みの方々との関係が途切れないように電話等支援に努めている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	1人ひとり出来る事は自分でして頂き、安全かつ自立した生活が送れるようにしている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録や健康チェックなどの日々の生活の様子を基にアセスメント・プラン作成し、それを基に協力医療機関と連携しながら適切にケア・支援を提供できている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合った利用者同士お話をしたり、貼り絵や体操をされたりと思いに過ごされている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室には本人が懐かしいものや写真等を飾られている。家族とお茶を飲んで頂いている。		A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室になじみの物や人に関わるもの、大切にしているものを近くに感じる事が出来、居心地の良い空間になるよう工夫をして良い居室になるよう配慮している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との外出や、スタッフと共に地域の行事等にも家族や地域の人々と協力しながら支援している。又、個々の散歩に行かれるなど支援している。	本人の希望を伝え家族との外出や、地域の行事等スタッフと共に参加し支援している。コロナ過には外出等は控えていた		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にモニタリングを実施し、本人、家族と必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の記録を記入し、職員間で共有している。レクリエーションや日々の活動参加の機会を増やし、ご利用者の方のモチベーション向上に努めている。又、個々の散歩に行かれるなど支援している。		A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はご利用者の方がレクリエーションや日々の活動参加の機会を増やし、ご利用者の方のモチベーション向上に努めている。利用者は散歩などで外出した際や隣接している保育園など、近隣や地域の人々と交流している。コロナ感染症の影響もあり、地域や近隣の方との交流が少なかった。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の一員として小学校や教会を訪問し、交流を深めている。	地域の一員として町内会への参加や小学校や教会を訪問し、交流を深めている。コロナ過には交流は控えていた。		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や地域との連絡情報交換により、本人や家族の希望に添えるような支援をしている。	本人や家族の希望を傾聴し添えるような支援をしている。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の方が安心して生活できるよう隣接する施設や協力医療機関、地域と連携している。また、職員と利用者との関係も良好で適切にケア・支援できていることも安心できる大きな要因となっている
----	----	--	---	--	----------------------------	---	---